

フレッシュ名曲コンサート 2大ピアノ協奏曲の夕べ



指揮／梅田俊明

ピアノ／前山仁美

川田健太郎

管弦楽／日本フィルハーモニー交響楽団

提供：(社)全日本ピアノ指導者協会

《プログラム》

ロッシーニ：歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調「皇帝」作品73 ピアノ：前山仁美

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18 ピアノ：川田健太郎

(曲目は変更になる場合があります。)

2009. 8. 23 (SUN)

羽村市生涯学習センター ゆとろぎ大ホール

17:30 開場 / 18:00 開演

【全席指定】一般<前売>2,000円<当日>3,000円
小学生～高校生1,000円

未就学児の入場はできません。

一時保育あります…1歳半～未就学児◇有料◇要予約◇先着15名
(詳しくはゆとろぎまで)

撮影：三浦興一

チケット取り扱い

☆ゆとろぎチケットカウンター(月休)042-570-0707 ☆羽村市スポーツセンター(月休)042-555-0033

☆マルフジ各店(羽村・青梅・福生地区) ☆西多摩新聞社チケットサービス0120-61-3737

主催：羽村市教育委員会／東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団) 企画協力：東京オーケストラ事業協同組合 企画・運営：ゆとろぎ協働市民の会
[お問い合わせ]羽村市生涯学習センターゆとろぎ TEL042-570-0707

フレッシュ名曲コンサート 2大ピアノ協奏曲の夕べ

東京文化会館（財団法人東京都歴史文化財団）では、都内の区市町村及び区市町村の指定する団体との共催により、「フレッシュ名曲コンサート」を実施しています。

この事業は、都民の皆様身近な地域で気軽にクラシック音楽等の名曲に親しんでいただく機会を提供し、併せて新進音楽家の発掘、育成を図ることを目的として開催するものです。

皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

東京文化会館（財団法人東京都歴史文化財団）

PROFILE

梅田俊明(指揮者) Toshiaki UMEDA



撮影：三浦興一

東京に生まれる。5歳よりピアノを始め、井上直幸、新井精氏等に学ぶ。1984年桐朋学園大学音楽学部を卒業。86年間研究科を修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、コントラバスを小野崎充、ピアノと室内楽を三善晃の各氏に師事する。83、84年には来日中のジャン・フルネ氏にも学んだ。また在学中よりNHK交響楽団においてピアノ、チェレスタ奏者として出演し、同楽団の推薦で86年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し、研鑽を積んだ。帰国後、89年12月より92年4月まで大阪センチュリー交響楽団指揮者を務めた。90年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任。92年4月より96年3月まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団の指揮者の任も果たした。2000年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、2006年3月までその任を務めた。客演としては、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニーを始め、国内主要オーケストラとの共演を重ね信頼も厚い。2001年第1回、及び2004年第2回仙台国際コンクール（いずれもヴァイオリン、ピアノの2部門で開催）では、全ての協奏曲を指揮し、出場者、聴衆、国内外の審査員から絶賛を博した。国内だけではなく、96年1月には南西ドイツ・フィルハーモニーとスロヴァキア・フィルハーモニーの定期演奏会に出演、いずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚く、将来を期待されている。

前山仁美(ピアノ) Hitomi MAEYAMA



3歳よりカワイ音楽教室にて学ぶ。その後、幼児科を経て6歳よりヤマハ美立橋音楽教室にてピアノや作曲等、音楽の基礎を学び、並行してヤマハ目黒音楽院に通う。北鎌倉女子学園高等学校を卒業後、ロシア国立モスクワ音楽院へ留学。現在は昭和音楽大学ピアノアカデミーに在籍し、並行して昭和音楽大学でも研鑽を積む。さらに、2009年のハイドン没後200年記念に向けてハイドンのクラヴィーア曲の全曲録音を開始し、ピティナのホームページにて音源を公開、執筆も担当する。これまでに、江口文子、パーヴェル・ネルセシアン、佐藤俊、日比谷友妃子の各氏に師事。第17回かながわ音楽コンクール・ユースピアノ部門中学生の部第1位、ジーナ・バックアウワー国際ピアノ・コンペティションYoung Artist部門第6位、ピティナ・ピアノコンペティションD級銅賞、G級金賞、特級グランプリ・聴衆賞受賞など、その他のコンクールにも入賞。

これまでに、ロシア、フランス、ドイツ、イタリア、日本各地でソロリサイタルや室内楽などの演奏活動を行い、いずれも好評を博す。また、国内外のオーケストラの共演や、多数のマスタークラスに参加。現在は、ソロ活動から室内楽まで幅広く活躍。2008年秋、同年5月に開催されたりサイタルのライヴ録音が発売され、好評を得る。

前山仁美オフィシャルブログ <http://renmei1103.blog113.fc2.com/>

川田健太郎(ピアノ) Kentaro KAWADA



1983年東京都生まれ。

2002年、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。同年単身ロシアへ留学。2008年、チャイコフスキー記念モスクワ国立音楽院本科（ピアノ専攻）を卒業。在学中にローム・ミュージックファンデーションより奨学生に選ばれる。

1994年、NHK教育テレビ番組「ゆかいなコンサート」に出演。1997年、第51回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部奨励賞受賞。1998年、第14回かながわ音楽コンクールユースピアノ部門中学生の部第1位。併せて神奈川新聞社社長賞受賞。同年第1回青少年盛岡国際ピアノコンクール第3位受賞。2005年、ロシア地方都市ノヴゴロドにて「21世紀の星・国際芸術音楽祭」に招かれ出演。ノヴゴロド芸術財団より名誉感謝状を授与される。2006年、第4回東京音楽コンクール第3位受賞。同年、ヴァイオリニスト天満敦子氏と共演。

オーケストラとの共演では、東京フィルハーモニー交響楽団（沼尻竜典指揮）、神奈川フィルハーモニー管弦楽団（故佐藤功太郎指揮）等と共演。これまでにピアノを元木浩子、日比友妃子、故竹島悠紀子、横山幸雄、ナターリア・トゥルーリ、吉武雅子の各氏に師事。現在全国各地でのソロ演奏活動のほか、室内楽奏者としても活動している。

日本フィルハーモニー交響楽団



撮影：浦野俊之

“音楽を通して文化を発信する”日本フィルは、質の高い音楽をお届けする「オーケストラ・コンサート」、音楽との出会いを広げる「エデュケーション・プログラム」、音楽の力で様々なコミュニティに貢献する「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行っています。

日本フィルは1956年の創立以来、半世紀余りにわたって多彩な演奏活動を行ってまいりました。2008年9月からロシアの名匠アレクサンドル・ラザレフを首席指揮者に迎え、「プロコフィエフ交響曲全曲演奏プロジェクト」がスタート。各方面より『日本フィル、新時代へ』との高い評価と大きな期待をいただいています。また首席客演指揮者として1980年生まれのスウェーデンの俊英ピエタリ・インキネンを招くなど、

若い世代のアーティストとの共演も積極的に行っております。日本フィルは、一人一人のお客様との対話を大切に、これからもより一層の演奏水準の充実を目指し、お客様と感動を共有してまいります。日本フィルハーモニーホームページ <http://www.japanphil.or.jp>